

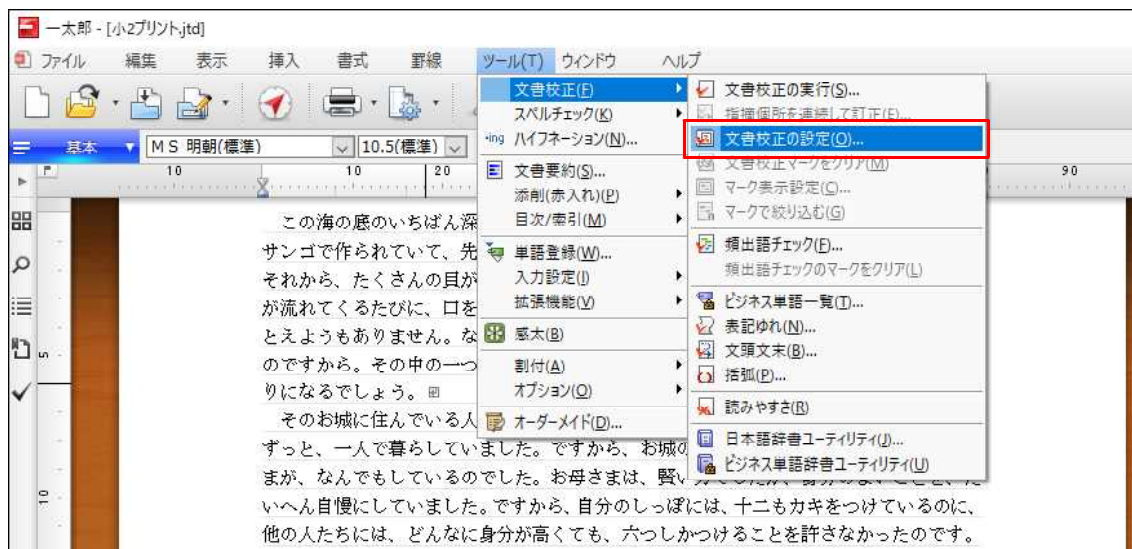
【一太郎 2019 編】

小学校で習わない漢字を素早くチェックするマル秘テク

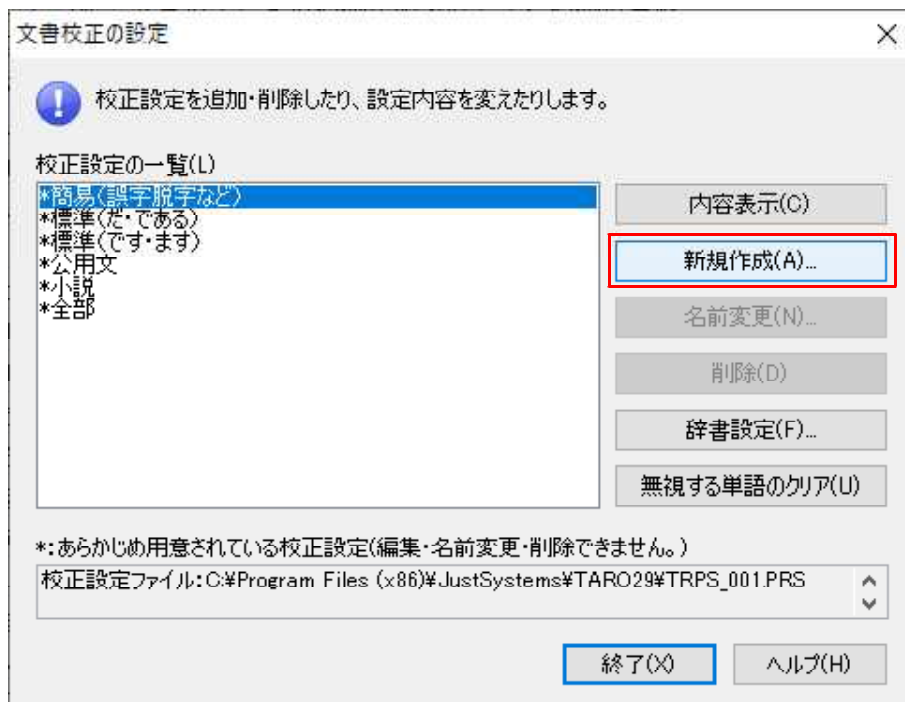
学校や塾のプリントなど、子ども向けに文書を作る際には、まだ習っていない漢字はひらがなにしたり、ふりがなをふったりする必要があります。

すべての漢字を確認しながら作業するのは大変ですが、校正機能やふりがなをふる機能を利用すれば、素早く完了します。一太郎 2019 は最新の「学年別漢字配当表」に対応しています。

1. 「ツール－文書校正－文書校正の設定」を選択します。

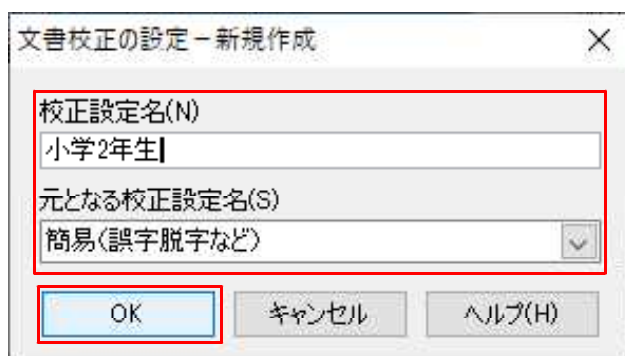


2. 「新規作成」をクリックします。



3. [校正設定名] に設定に付ける名前を入力します。[元となる校正設定名] を選択し、[OK] をクリックします。

※ここでは、[簡易 (誤字脱字など)] を選択しました。



文書校正の設定 - 新規作成

校正設定名(N)
小学2年生

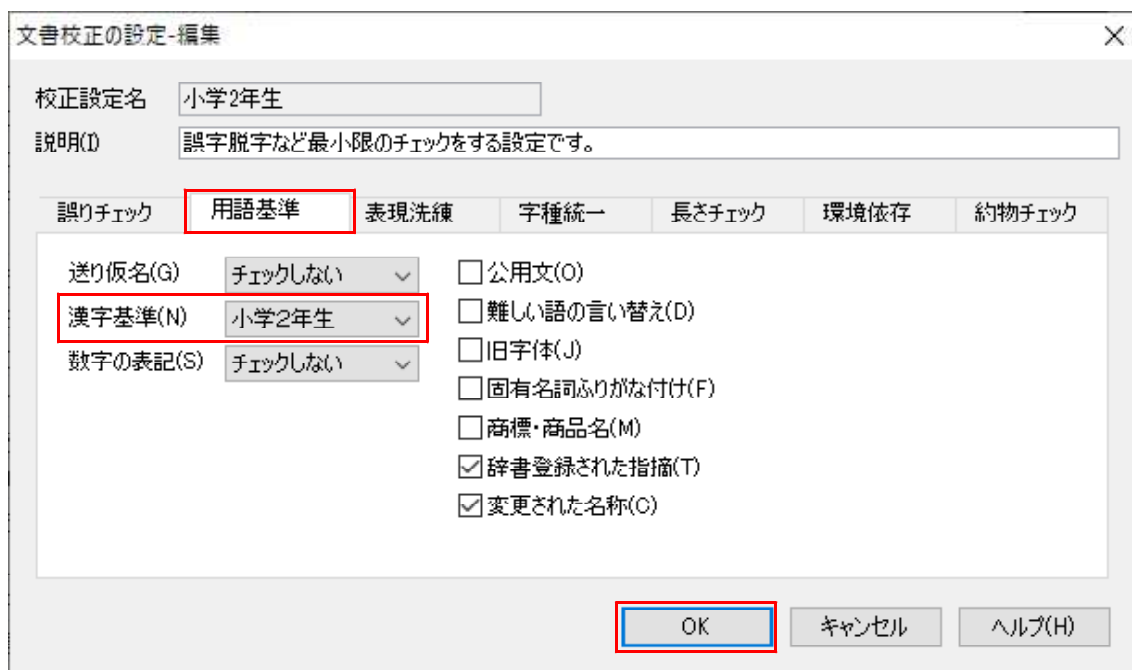
元となる校正設定名(S)
簡易(誤字脱字など)

OK キャンセル ヘルプ(H)

↓

4. [用語基準] タブの [漢字基準] で、対象となる学年を選択し、[OK] をクリックします。

※ここでは、小学2年生向けの文書として、該当する学年を設定しました。



文書校正の設定 - 編集

校正設定名 小学2年生

説明(I) 誤字脱字など最小限のチェックをする設定です。

誤りチェック 用語基準 表現洗練 字種統一 長さチェック 環境依存 約物チェック

送り仮名(G) チェックしない

漢字基準(N) 小学2年生

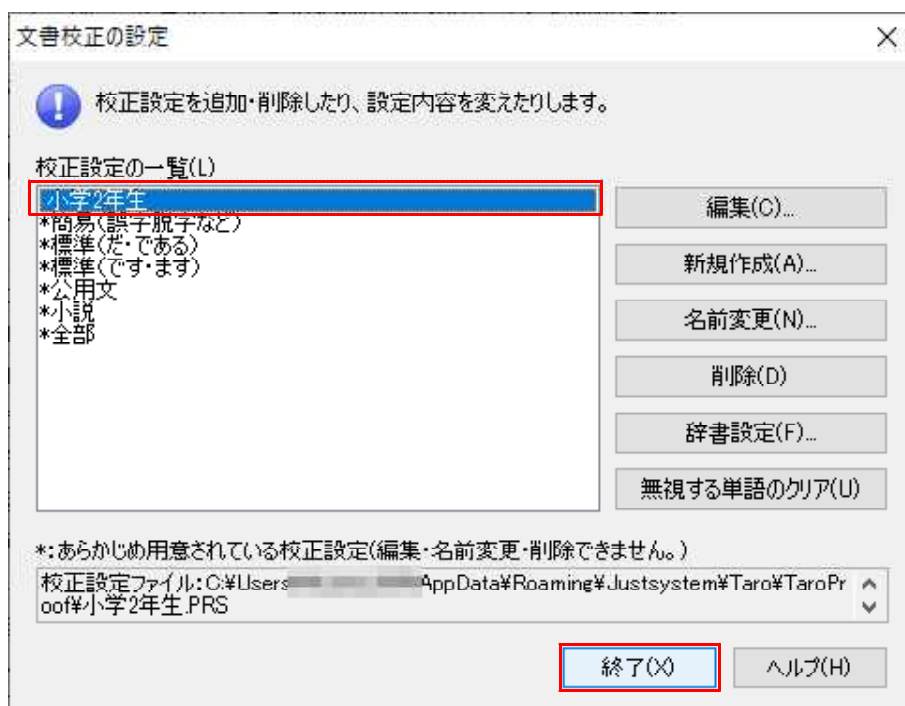
数字の表記(S) チェックしない

☐ 公用文(O)
☐ 難しい語の言い替え(D)
☐ 旧字体(J)
☐ 固有名詞ふりがな付け(F)
☐ 商標・商品名(M)
☒ 辞書登録された指摘(T)
☒ 変更された名称(C)

OK キャンセル ヘルプ(H)

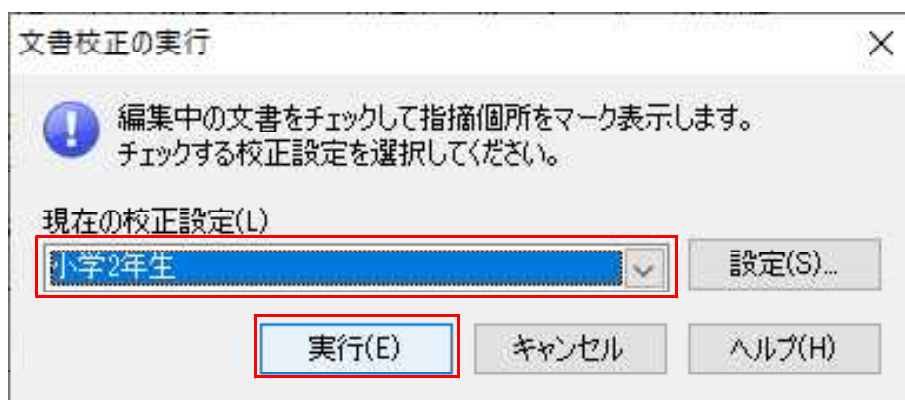
↓

5. 校正設定が追加されたことを確認し、[終了] をクリックします。



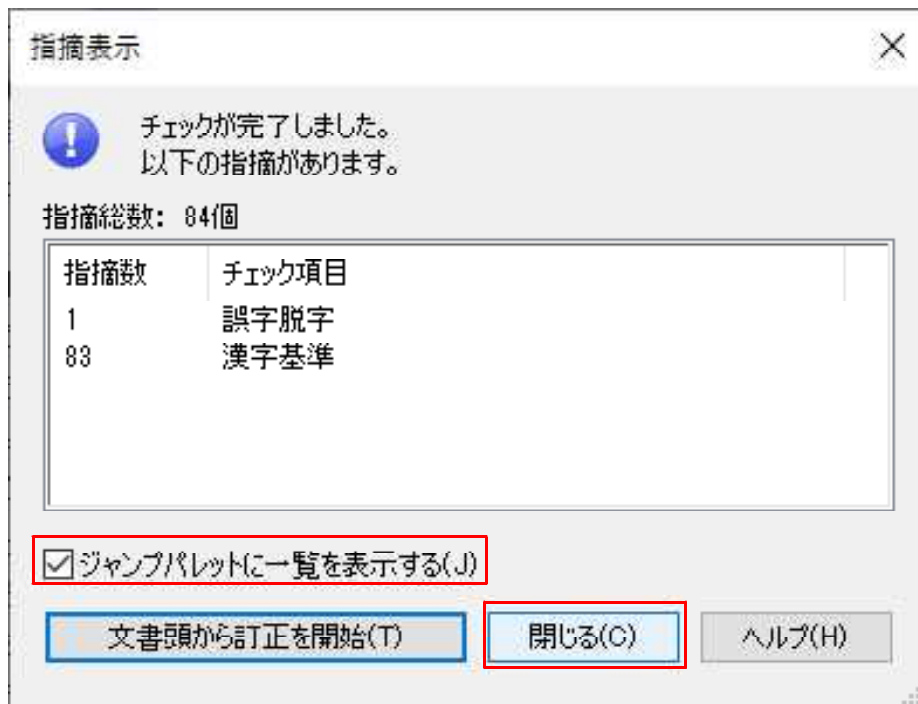
↓

6. [ツール－文書校正－文書校正の実行] を選択し、新たに作成した校正設定を選んで、[実行] をクリックします。

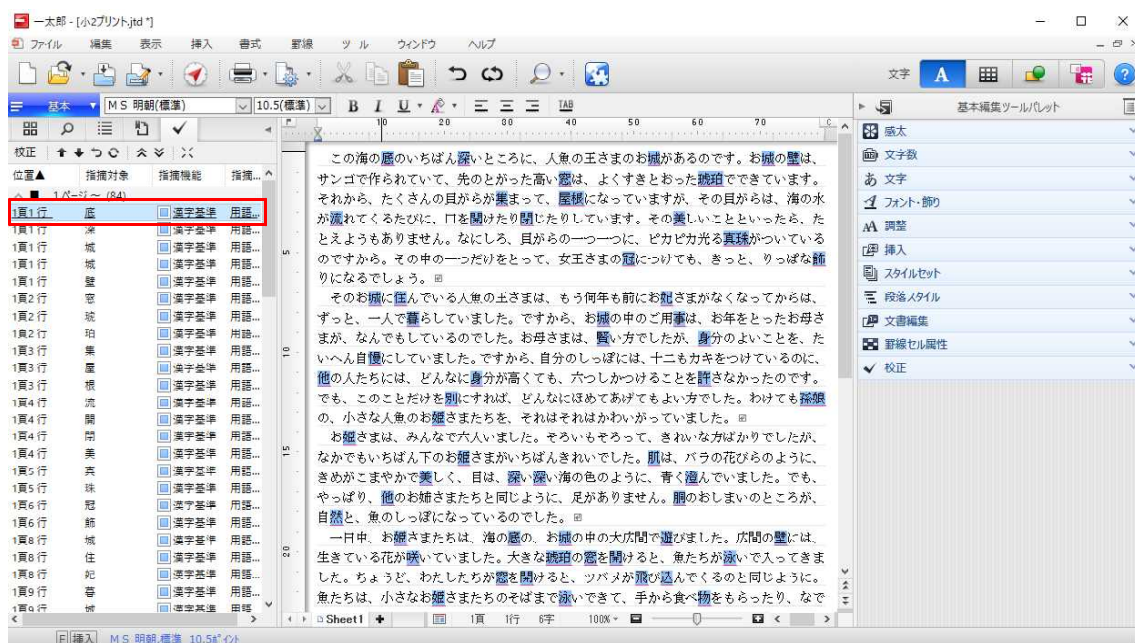


↓

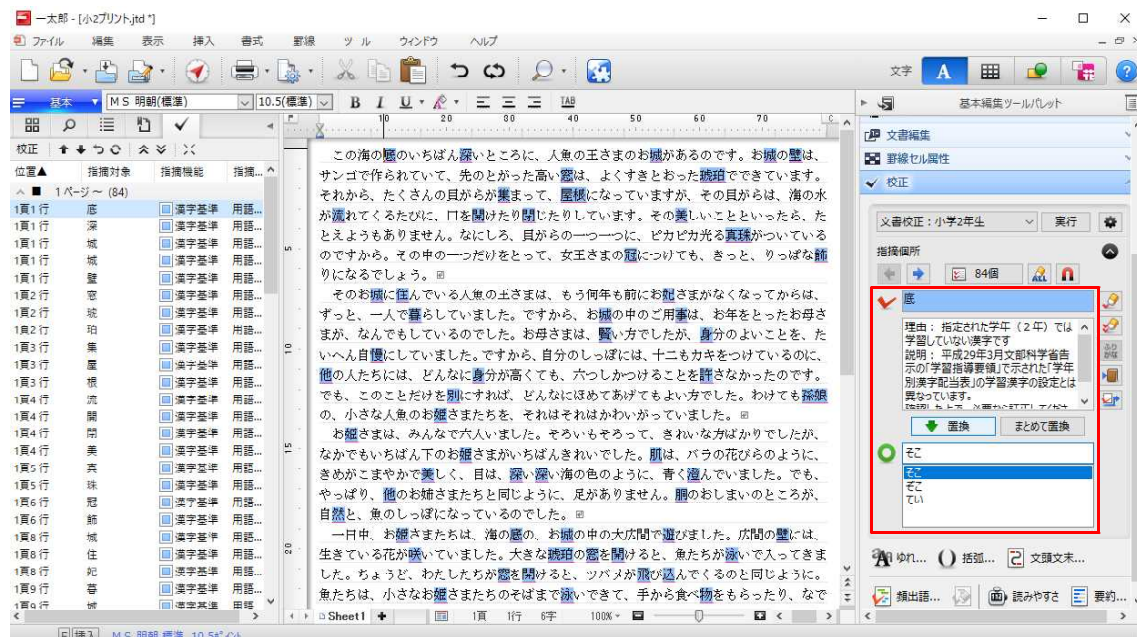
7. 文書校正が実行され、[指摘表示] ダイアログボックスが表示されます。[ジャンプパレットに一覧を表示する] がオンになっていることを確認し、[閉じる] をクリックします。



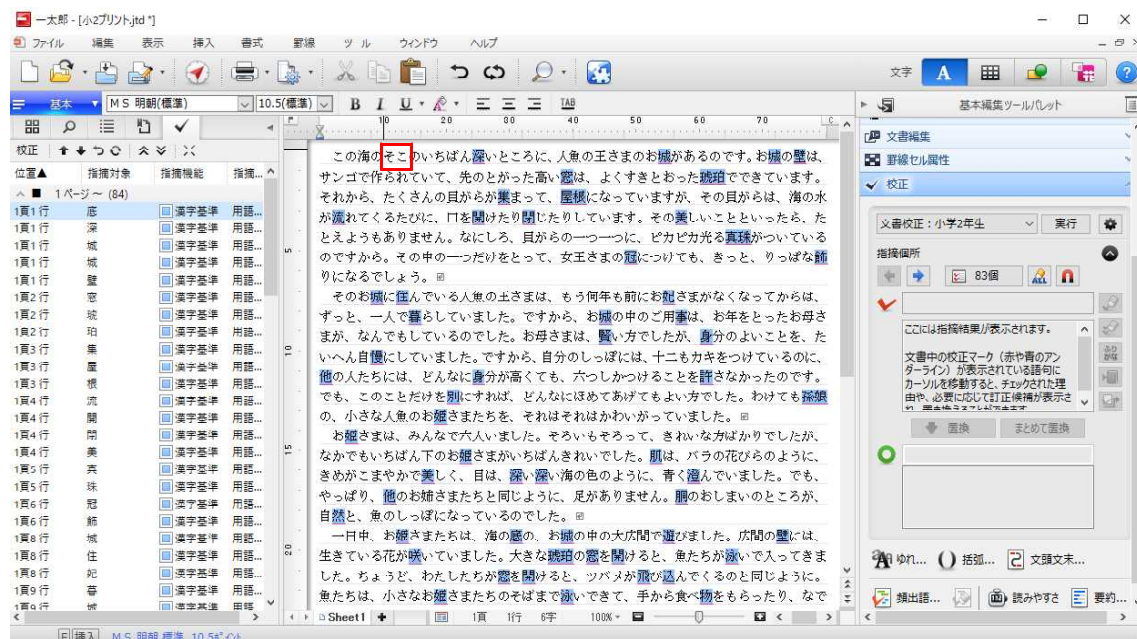
8. ジャンプパレットに指摘項目が表示されるので、修正したい指摘箇所をクリックします。



9. 指摘理由はツールパレットの「校正」パレットに表示されます。置換候補を選択して「置換」をクリックします。置換候補は直接入力することもできます。



10. 修正が反映されました。



※漢字をひらがなにするのではなく、ふりがなをふりたい場合は、[書式－ふりがな－すべての単語]を選択し、[ふりがな対象]で[学年別漢字配当]をクリックします。小学2年生向けであれば、[小学三年以上で習う漢字にふりがなをふります]を選んで実行すれば、文書中の該当する漢字にふりがなをふることができます。

